

住之江区 防災マップ(西部)

Suminoe Ward Disaster Prevention Map West
 津波や大和川氾濫など水害が発生した場合は少しでも早く「高い」場所(頑丈な建物の3階以上)に避難しましょう。

保存版

令和4年8月1日時点

このマップには、災害時の連絡先、災害時避難所、津波避難ビルなど、防災に役立つ情報を掲載しています。災害時に命を守ることができるよう、安全な避難場所や避難所、避難するときの経路を記入するなど、日頃から確認することで災害に備えましょう。

＜マップの色分けについて＞
 マップの色分けは、大和川が氾濫したときの浸水の深さを示しています。
 浸水の深さは、災害の種類や規模などにより異なります。
 津波や高潮が発生した場合の浸水の深さについては、水害ハザードマップなどをご確認ください。 水害ハザードマップ

大和川が氾濫したときの浸水の深さ

- 3・4階 (3階床～4階軒下浸水) 5m～10m未満
- 2階 (2階床～軒下浸水) 3m～5m未満
- 1階 (1階床～軒下浸水) 0.5m～3m未満
- 1階床下 (1階床下浸水) 0.5m未満

災害時の連絡先

住之江区役所	06-6682-9974	水道(西部水道センター)	06-6531-9211
住之江区保健福祉センター	06-6682-9882	道路(住之江支所)	06-6686-0434
警察署	110	電気(関西電力(伊電))	0800-777-3081
消防署	119	ガスもれ(大阪ガス)	0120-0-19424
下水道(住之江管理センター)	06-6686-1909	電話の故障(NTT)	113
		ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113

災害時避難所・津波避難ビル

災害時避難所・津波避難ビル Designated Disaster Evacuation Site (Tsunami Evacuation Building)
 浸水や倒壊により、自宅で生活できなくなったときに避難生活を送る場所
 ・学校の体育館や校舎など
 ※非浸水階(3階以上)は、津波や大和川氾濫などの水害から避難するところ

18	22	18	22
19	21	19	21
20	20	20	20

津波避難ビル(水害時避難ビル)

津波避難ビル(水害時避難ビル) Tsunami Evacuation Building (Flood Disaster Evacuation Building)
 津波や大和川氾濫などの水害から避難する場所
 ・堅固な建物の非浸水階(3階以上)など

40	53	40	53
41	54	41	54
42	55	42	55
43	56	43	56
44	57	44	57
45	58	45	58
46	59	46	59
47	60	47	60
48	61	48	61
49	62	49	62
50	63	50	63
51	64	51	64
52	65	52	65

凡例 LEGEND

公共電話 Public Phone
 災害等の緊急時に通信規制が実施される場合も、対象外として優先的に取り扱われます

防災スピーカー Disaster-Prevention Speaker
 災害情報や避難指示等を音声やサイレンで伝える屋外スピーカー

一時避難場所 Temporary Emergency Evacuation Area
 災害等の危険を回避するために一時的に避難する場所
 ・公園や学校の運動場など

学校
 ・公園や学校の運動場など

広域避難場所 Designated Safety Area
 大規模な火災などにより地域全体が危険になったときに避難する場所
 ・住之江公園一帯 ・南港中央公園

非常持出品

避難する際に持ち出すものの一覧です。リュックサックなどに入れておき、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

非常持出品(リュックサックなど)に入れておくもの

- 飲料水
- 非常食
- 貴重品
- 医療品等
- その他

家族構成や世帯事情に応じて必要なものを

- 乳幼児
- 妊婦
- 高齢者
- 疾患のある方
- ペット
- その他

大阪府防災アプリ

防災アプリのダウンロードはこちら

Android版はこちら iOS版はこちら

浸水想定区域や避難場所などの情報は、はじめに、災害状況や避難時の注意点を、避難するかどうかの判断に役立つ情報などを確認できるアプリです。令和3年4月1日にリニューアルされ、より使いやすくなりました。



避難イメージ

津波避難ビルは、避難する場所が浸水しない高さにあるか確認してから避難してください。

このマップを参考に、いざというときに安全に避難できるよう、安全な避難場所(災害時避難所等)や避難経路を普段から確認しておきましょう。また、大規模な浸水が発生した場合、災害時避難所が大混雑することが予想されます。避難場所が遠い場合、高齢の方などは避難に時間がかかることが予想されます。

これらの避難場所だけでなく、近隣のマンションやビルなどに一時的な避難ができるよう、あらかじめ管理者等と話し合うなどし、複数の避難場所を確保しておくことも大切です。また、風雨の激しいときに避難するのは危険であり、安全が確保されているならば自宅で待機することも避難方法のひとつです。

ざざんか平林協議会

ざざんか海協議会

ざざんか南港緑協議会

ざざんか太陽協議会

ざざんか花協議会

防災情報の掲載サイト

災害庁

川越防災情報(水位)

おおさか防災ネット

区役所 Twitter

避難カード

家具の転倒防止

災害用伝言ダイヤル171